

地震に備えて 確認と準備を

固危機管理課 ☎(235)4790

地震に対して日頃から個人でできることは「備え」です。
避難先の確認や備蓄品の準備をして備えましょう。



避難先を確認

市の避難所だけでなく、自宅が安全な場合の「在宅避難」、親戚・知人家などへの「縁故避難」なども選択肢です。建物の倒壊などで道路が使用できない状況も想定して、複数の避難先を検討しておきましょう。

市内32カ所の避難所は居住地にかかわらず利用できます。避難所の開設情報は市防災ホームページなどでお知らせします。



家の中の安全対策を確認

家具類の転倒や落下物は、けがや命を落とす原因になるだけでなく、避難時の妨げになる可能性もあります。家の中を点検し、安全対策をしましょう。

- 寝室や子ども・高齢者・障がい者のいる部屋はできるだけ家具を減らす
- 出入り口や通路に物を置かない
- 家具を固定したり転倒防止安定板を設置する
- 家具の上には落ちやすい物は置かない
- 懐中電灯を分かりやすい場所に置いておく
- 窓ガラスの飛散防止をする



主な備蓄品

- 3日間の生活ができる限りの分量を最低限の目安に、できる限り1週間分の備蓄品を準備しましょう。
- 食料(ご飯・ビスケット・チョコレート・カンパンなど)
- 飲料(1人1日3リットル目安)
- 感染予防品(マスク・手指消毒液など)
- 衛生用品(トイレ袋・トイレシート・ペーパーティッシュペーパー・洗面用具・生理用品など)
- 日用品・防災用品(ヘルメット・防災頭巾・軍手・衣類・タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・ライター・ろうそく・カセットコンロ・カセットボンベ・電池など)
- 救急用品(包帯・ガーゼ・ばんそうこう・常備薬など)
- 貴重品(通帳・証明書類・現金など)
- ペット用品(ペットフード・水・リード・ペットシート・ケージなど)

非常持ち出し品・生活必需品を準備

市で想定している大規模地震は「都心南部直下地震」「南海トラフ巨大地震」などです。大規模地震発生時は、物流が滞り商品の品薄やライフラインの断絶が予想されます。食料・飲料の消費期限を確認し、感染予防品を含む避難時の非常持ち出し品や「在宅避難」を想定した生活必需品を準備しましょう。



トイレ袋は必ず備えましょう



災害発生直後は断水・停電・下水道の破損などによりトイレが使用できなくなるおそれがあります。トイレ袋を必ず備えましょう。破損した下水道に水を流すと、近隣の家のトイレが逆流するなどの被害が出る可能性があり、復旧が大幅に遅れる原因にもなります。

凝固剤タイプ

トイレに袋をかぶせて使うタイプ。使用後に凝固剤をかけて固めます。



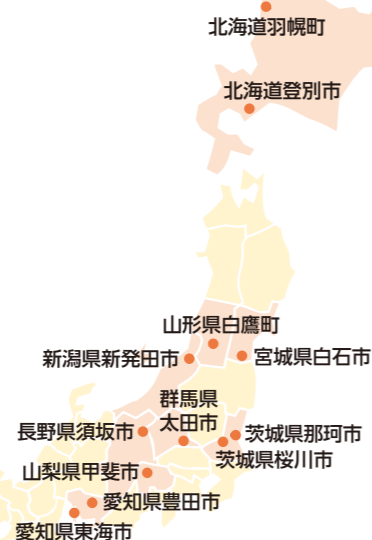
高速吸水シートタイプ

袋と吸水シートが一体化したタイプ。袋を開くだけで使用できます。



災害発生時に相互連携「相互応援協定都市」

災害発生時に備え、県内市町村のほか、同時に被災する可能性が高い県外12の自治体と相互応援協定を締結しています。大規模災害などで被害を受けたときに、職員の派遣や車両・食料の提供などの相互支援を行います。



ペット同行避難

災害発生時にはペットも一緒に市の避難所に避難できます。避難所には動物が苦手な人や動物アレルギーがある人など多様な人が集まるため、事前に受け入れの条件などを確認してください。詳細は、市ホームページをご覧ください。

避難の流れ

- 1 大規模地震災害が発生
- 2 避難所など安全な場所に一時的に避難
- 3 被害状況が落ち着いたら帰宅。倒壊など、自宅で生活ができない場合は、ペット避難所として開設する北部公園体育館にペットと一緒に移動し、「同伴避難」

日頃からの備え

- 避難所にペット用品の備蓄はありません。ペットフードなどは持ち出せるように備えておきましょう。
- ケージやキャリーバッグの中でも生活ができるようにしつけをしましょう。
- 無駄吠えや排せつなどのしつけをしましょう。
- ブラッシングなどで体を清潔に保ち、ワクチン接種や寄生虫駆除をするなど、健康管理を心掛けましょう。
- 首輪や迷子札、マイクロチップなど身元が特定できるものをペットに付けましょう。